

項目	説明	
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	中央部横行結腸癌に対する腹腔鏡下拡大結腸右半切除と腹腔鏡下横行結腸切除の治療成績を検討する多施設共同観察研究
	研究目的	中央部横行結腸癌に対する至適至適術式は明らかになっていない。中央部横行結腸癌に対して結腸切除を行う際、サージカルマージンの確保と手技上の観点(安全性)から、症例毎に施設や術者の判断で拡大結腸右半切除、または横行結腸切除が行われているのが現状である。また、横行結腸癌に対する腹腔鏡手術は advanced surgery とされ、その適応や治療成績に関しては一定の見解がない。本研究は中央部横行結腸癌に関するデータを収集し、臨床病理的背景、手術方法・成績、長期予後を解析することで、中央部横行結腸癌に対する腹腔鏡下手術の至適術式を明らかにすることを目的とする。
	研究対象者	2008年1月から2019年12月に当センター消化器外科にて横行結腸癌の治療を受けた患者さん。
	研究期間	西暦 2020年11月24日～西暦 2023年12月31日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)	<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録	
試料・情報の管理について の責任者	当センター 研究責任者	消化器外科 塩澤 学
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等 共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	消化器外科 横浜市立大学医学部 外科治療学 横浜南共済病院 外科・消化器外科 藤沢湘南台病院 外科 済生会横浜市南部病院 外科 平塚共済病院 外科 秦野赤十字病院 外科 横浜市立大学市民総合医療センター 消化器病センター